

ほぼ日の学校長が  
岡大にやってくる!

『言葉はこうして生き残った』

雑誌『考える人』(新潮社)元編集長

河野通和さん講演会

# ことばを考える、ことばで考える

## ～いま僕らに人文学が必要な理由～



人文学を学んで、なんの役に立つの?  
なぜ大学で人文学が教えられているの?

<ことば>にかかわるすべての「あなた」へ

岡山大学文学部では、岡山のご出身で、  
今年、古典を学ぶほぼ日の学校長に就任された  
河野通和さんをお招きし、いま僕らに人文学が  
必要な理由についてご講演いただきます

**入場無料 / 事前申込不要**

2017

12/16(土)

15:00-17:00

### 河野通和氏のプロフィール

1953年、岡山市生まれ。大安寺高校、東京大学文学部卒業。

78年中央公論社入社。「婦人公論」編集長、「中央公論」編集長  
などを歴任。2010年新潮社に入社し、雑誌「考える人」の編集長  
を務める。17年4月に「ほぼ日の学校」の学校長に就任。18年  
には第1弾の講座として「シェイクスピア講座2018」が始まる。  
著書に『言葉はこうして生き残った』(ミシマ社)など。

**岡山大学津島キャンパス 文法経1号館講義棟 20番教室**



←詳細は文学部HPで!

岡山大学文学部プロジェクト研究 映像表現と人文学